

日広連役員OB会 in 山形

日広連の理事及び監事経歴者で組織する役員OB会の第10回例会が、令和3年10月16日に1泊で日広連役員と当地区連役員も含めた32名が参加し山形県鶴岡市で開催された。

例会は全国の地区連が輪番制で観光も含めて担当することとなっており、東北地区連では前回平成25年の宮城県開催に続き、山形県屋外広告美術協同組合の担当により山形県内で1泊開催することで2年前より準備を進めていた。

特にOB会会員で、東北地区連の杼窪相談役、増田相談役、石井秋田県理事長、佐藤山形県理事長には地元開催ということでご意見を頂戴しながら、東北地区連理事長会議でも随時内容検討を行い、大戸地区連会長、木村青森県理事長、佐々木宮城県理事長、地元の武田山形県組合専務理事と高橋地区連事務局長も同行してのOB会となった。(杼窪相談役と増田相談役は当日はご夫妻で参加された。)

今回の開催は、コロナ禍での緊急事態宣言発令時期で実施有無の決断も迫られたが、幸いなことにOB会実施中も含めその後、体調を崩された方もないとのことである。

また、コロナ禍であることが最優先事項となり、会議・宿泊(温泉宿、ホテル)形態を考慮した上でのコース設定ではあったが、山形駅集合時から「湯殿山丑年御縁年参拝」「クラゲドリーム館」等では終始笑顔に溢れ、後日東北地区連へは参加された方々から感謝の言葉を沢山頂戴することが出来た。今回はほんの一部だけの山形旅となったが、機会があれば是非、見どころ満載の山形県内を心行くまで楽しんでいただきたいと思います。次のOB会開催は広島県内とのこと。その頃には新型コロナウイルスも収束し、遠方からの会員の方も多数参加されて、安心して旧交を深められることを願うばかりである。

日広連役員OB会 in 山形大会レポート

日広連OB会(東北地区連・山形県組合相談役)増田 隆

時は令和3年10月16日(土)～17日(日)

コロナ騒動のなか、2年ぶりに第10回日広連OB会例会が山形県でライブで挙行されました。その様子をザックリとレポートさせていただきます。

10月16日(土)AM10:15 JR山形駅に全員集合

今時大勢でコンコースに屯(たむろ)する人などはめずらしいので周囲の注目を浴びる。皆さんマスク着用なので何方なのかよく判らないみたい、私などは挨拶をしても怪訝な表情で迎えられました、でも皆さん久しぶりにお会いするようでマスク越しに笑顔でご挨拶。

「目で笑う ご挨拶にも マスク顔」

AM10:30 みんなで観光バスに乗る

天気悪いので足早に車内へ。早速、お菓子と飲み物配布 地区連会長お自ら御手渡しであります。

「バス旅行 せんべいほおぼり ビール飲む」

AM11:30 月山の麓寒河江川の傍、山菜料理「出羽屋」で昼食

早速山形の蕎麦を食らう、芋煮や昆布巻きなども美味でした。

「蕎麦香り みちのくの旅 温まる」

PM13:50頃 湯殿山へ到着

今年は出羽三山丑歳御縁年の時。湯殿山信仰は、羽黒山で現世の幸せを祈り、月山で死後の浄化を願い、湯殿山を拜して生まれ変わることを願い三山を巡ります。

丑年御縁年は12年に1回の丑年に参詣すれば、12回お参りしたことになり大変なご利益があると

伝えられています。バスを乗り継ぎ湯殿へ、靴を脱いで裸足で参拝 ご神体までの道のりは温泉が湧き落ちる赤い岩肌を裸足でのぼる。

「危なげな 老人たちへも ご利益を」

鶴岡のホテルへ到着(PM16:00)

PM17:00～ ホテルで総会・懇親会

全ての議案が可決され、次回OB会総会も中国地区広島に決定する。

懇親会はアクリルパーテーション越しに大声で懇親を深めました。地区連会長の差し入れで…

「地元でも 飲めないお酒 十四代」

10月17日(日)季節風が強い冬空ですが時折日も差す天気

AM9:15頃 加茂水族館に到着 クラゲを見る。直径5mの水槽「クラゲドリームシアター」が有名

アシカショー等は寒いのでやってませんでした。

水族館の展望室より見る波立つ冬の日本海が印象的です。

「日本海 泡立つ波の クラゲかな」

AM11:00頃 山居倉庫でお土産タイム

明治時代のお米の倉庫で米どころ庄内のシンボル ケヤキ並木がきれい。

庄内米の資料館も併設されています。

「行く先々で だんだん増える レジ袋」

PM0:30頃 料亭「香梅咲」で昼食

「香梅咲」は北前船で運ばれた京の風情をただよわせる料亭。

創作の踊りもなかなかでしたが客あしらいの達者な酒田芸子に翻弄されます。

久々の団体客に舞子さん大喜び、大久保さんのいつものスタイル、カーボーイハットにチップを集めて心付け。

「久々の チップに色めく 舞子さん」

PM17:00時前 山形駅へ到着・解散

皆さん元気で無事到着、また来年もと言いながらお別れしました。

翌日も旅を続ける元気な方もいらっしゃるようです。

「旅終えて 一息ついて 忘れ物」

忘れ物も無事に持ち主に帰ったのでしょうか?忘れ物も旅の思い出ですね。

今回の企画・運営に携わりました地区連役員事務局・山形県役員の皆様はこの紙面を借りて深く感謝いたします。

